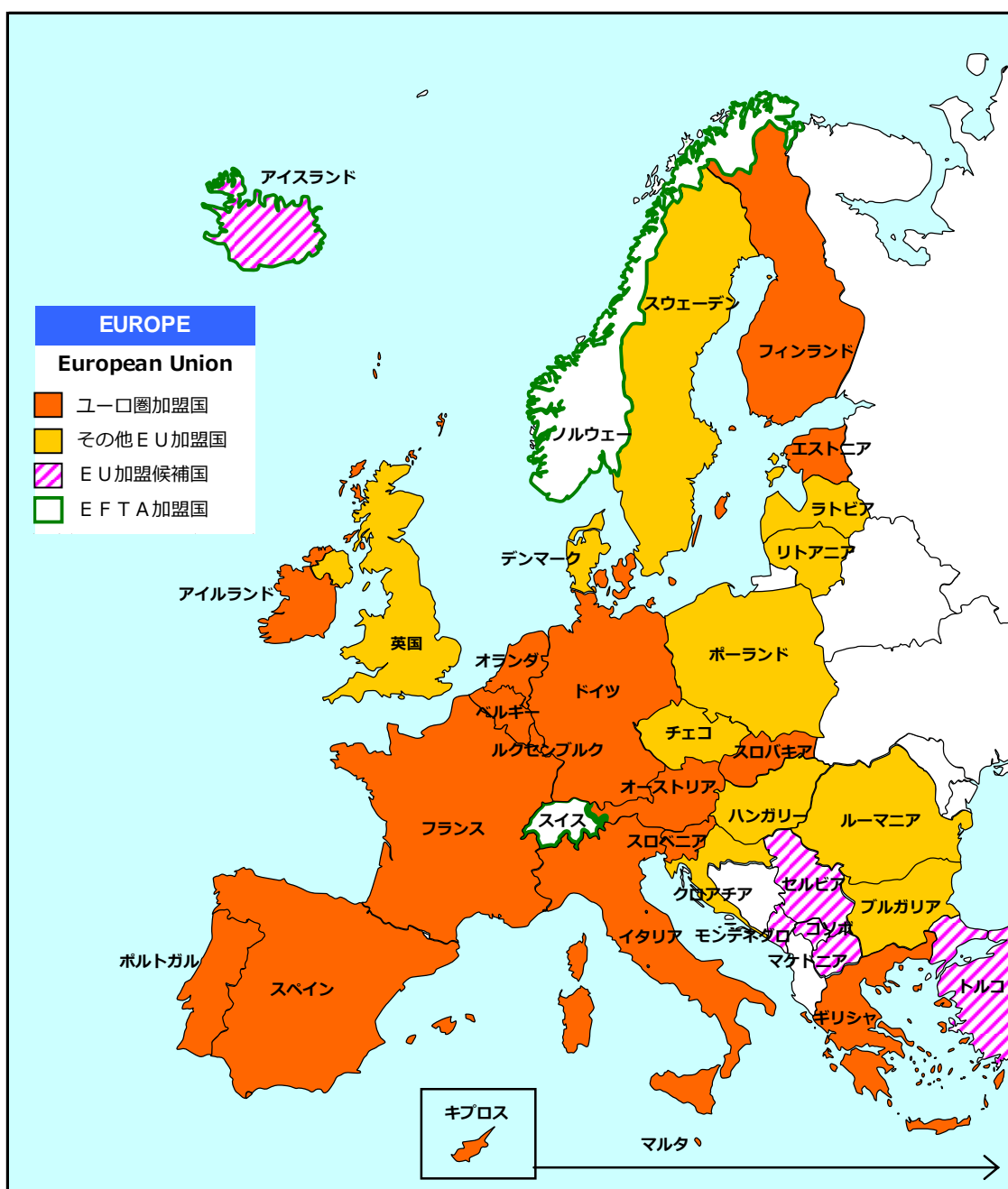


欧州経済アップデート (2013. 8)

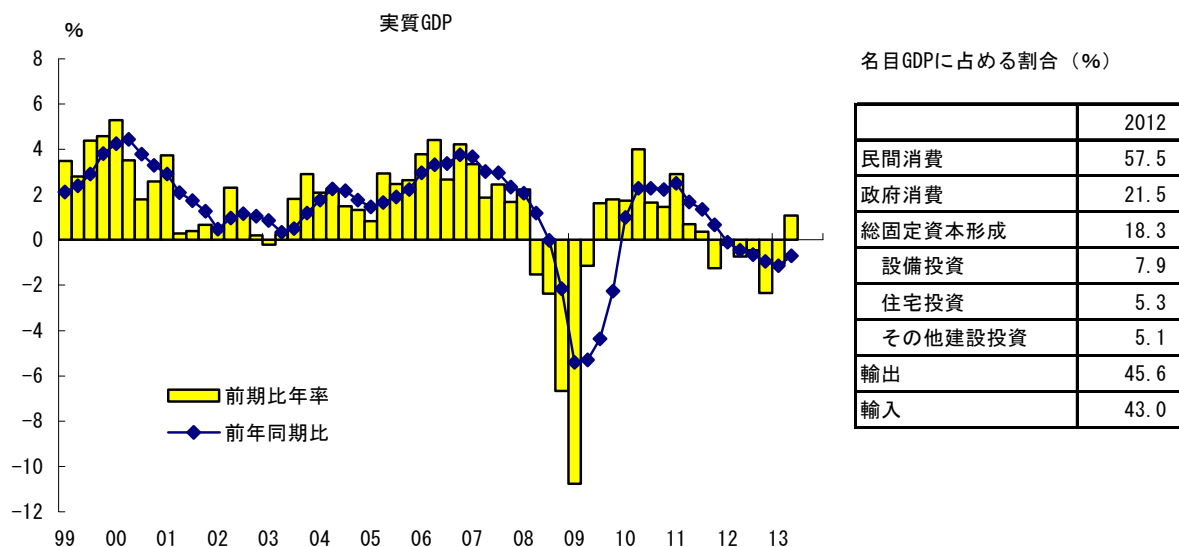
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 13年Q2のGDP成長率（速報）は前期比+0.3%と7四半期ぶりのプラス成長に転換
- 国別で見ると、ドイツとフランスが大きく寄与。フランスは3四半期ぶりにマイナス成長から脱した
- 13年Q2の内訳は、9月4日に発表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.4	1.0	0.4	0.4	0.7	0.2	0.1	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.6	-0.3	0.3
個人消費	0.2	0.2	0.3	0.5	-0.0	-0.5	0.3	-0.8	-0.2	-0.5	-0.1	-0.6	0.0	-
政府消費	-0.4	0.1	0.4	-0.0	-0.2	0.0	-0.1	0.1	-0.1	-0.3	-0.1	0.0	-0.2	-
総固定資本形成	-0.2	1.8	0.1	-0.6	2.2	-0.4	-0.5	-0.6	-1.3	-1.8	-0.8	-1.5	-1.9	-
設備投資	1.9	2.8	1.3	0.9	1.7	0.4	0.3	-0.6	-1.0	-1.6	-1.1	-1.5	-2.0	-
住宅投資	-0.2	1.9	-0.6	-1.7	2.9	-0.8	-0.9	-0.8	-0.7	-1.7	-0.3	-1.5	-1.5	-
その他建設投資	-3.1	0.4	-0.8	-1.9	2.2	-1.3	-1.2	-0.4	-2.3	-2.3	-0.9	-1.5	-2.2	-
輸出	2.8	4.5	1.9	2.0	1.8	0.5	1.3	0.0	0.8	1.5	0.8	-0.9	-0.9	-
輸入	3.3	4.1	1.3	1.8	1.5	-0.1	0.5	-1.4	0.0	0.3	0.2	-1.2	-1.2	-

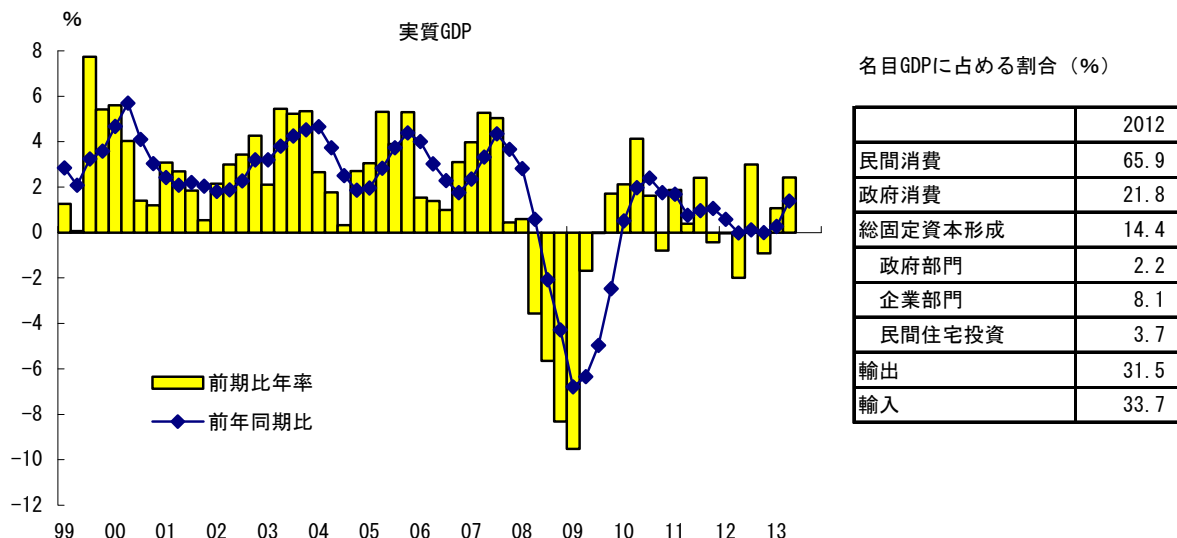
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.43	0.99	0.41	0.37	0.72	0.17	0.09	-0.31	-0.05	-0.18	-0.11	-0.59	-0.27	0.27
個人消費	0.11	0.12	0.15	0.30	-0.00	-0.27	0.16	-0.43	-0.10	-0.29	-0.08	-0.35	0.01	-
政府消費	-0.08	0.02	0.08	-0.01	-0.05	-0.01	-0.03	0.03	-0.03	-0.06	-0.03	0.01	-0.03	-
総固定資本形成	-0.03	0.34	0.02	-0.11	0.41	-0.09	-0.09	-0.11	-0.24	-0.34	-0.15	-0.27	-0.34	-
設備投資	0.16	0.23	0.11	0.08	0.14	0.03	0.02	-0.05	-0.09	-0.14	-0.09	-0.13	-0.16	-
住宅投資	-0.01	0.10	-0.03	-0.09	0.15	-0.04	-0.05	-0.04	-0.04	-0.09	-0.01	-0.08	-0.07	-
その他建設投資	-0.17	0.02	-0.04	-0.10	0.11	-0.07	-0.06	-0.02	-0.11	-0.11	-0.04	-0.07	-0.10	-
在庫変動	0.57	0.30	-0.11	0.05	0.23	0.27	-0.28	-0.36	-0.04	-0.03	-0.14	-0.05	-0.04	-
輸出	1.10	1.80	0.79	0.87	0.76	0.21	0.56	0.00	0.36	0.69	0.37	-0.43	-0.40	-
輸入	-1.25	-1.58	-0.51	-0.72	-0.61	0.05	-0.21	0.56	-0.02	-0.14	-0.08	0.49	0.51	-
純輸出	-0.15	0.22	0.28	0.14	0.15	0.26	0.34	0.56	0.35	0.55	0.29	0.07	0.11	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 GDP

- 13年Q2のGDP成長率（速報）は前期比+0.6%。Q1から伸びが加速し、2四半期連続のプラス成長となった
- 農業、鉱工業、建設業、サービス業の主要4セクターすべてで前期比プラス成長を記録し、中でもサービス業のプラス寄与が最も大きかった
- 13年Q2の内訳は、8月23日に発表予定



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.5	1.0	0.4	-0.2	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.0	-0.5	0.7	-0.2	0.3	0.6
個人消費	-0.8	1.5	-0.0	0.4	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.1	0.6	0.2	0.4	0.5	-
政府消費	-0.3	0.5	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.7	-0.9	0.9	0.8	0.1	-
総固定資本形成	5.9	-1.7	4.1	-3.8	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.1	-2.1	-1.6	-4.9	0.2	-
政府部門	-4.1	-6.2	4.0	-2.2	0.0	-13.3	5.1	-4.8	12.3	1.4	-9.1	2.4	-6.0	-
企業部門	10.5	-10.1	8.6	-5.2	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	2.7	-1.2	3.1	-6.2	-1.2	-
民間住宅投資	-1.8	12.4	3.2	-4.8	8.2	-5.2	-3.1	-2.7	-1.5	6.7	-6.1	-2.6	-	-
輸出	0.3	4.0	0.3	2.6	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.7	-0.6	1.9	-1.9	-0.1	-
輸入	1.9	2.7	2.5	1.1	-2.6	-0.7	1.0	1.1	0.4	1.6	0.6	-1.0	-2.0	-

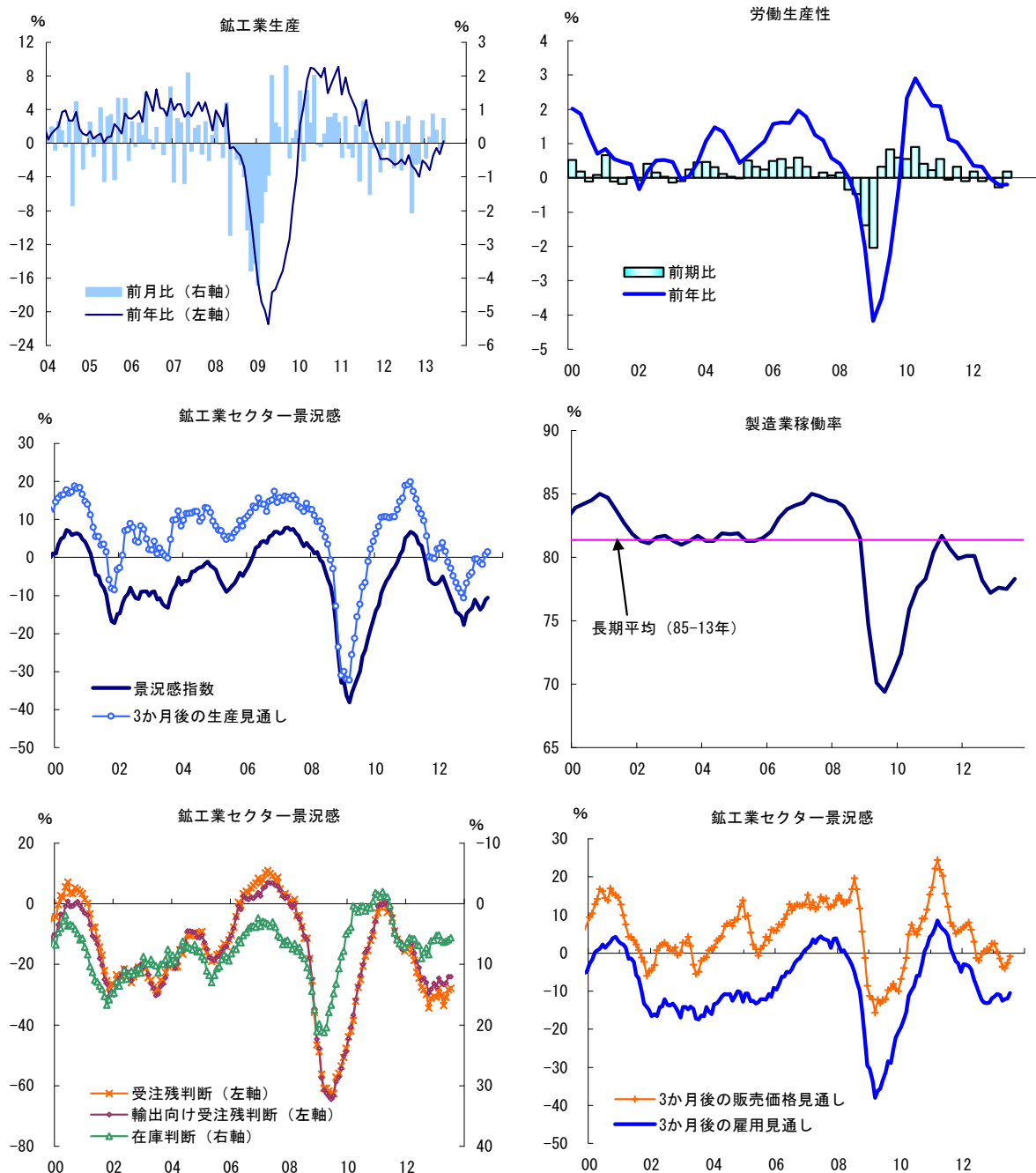
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.53	1.02	0.40	-0.20	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.50	0.74	-0.23	0.27	0.60
個人消費	-0.50	0.95	-0.00	0.26	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.06	0.35	0.13	0.25	0.34	-
政府消費	-0.07	0.11	-0.03	-0.02	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.60	-0.21	-0.20	0.18	0.02	-
総固定資本形成	0.85	-0.26	0.60	-0.58	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.59	-0.31	-0.24	-0.71	0.02	-
政府部門	-0.11	-0.16	0.10	-0.05	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.26	0.03	-0.22	0.05	-0.13	-
企業部門	0.83	-0.88	0.67	-0.43	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.22	-0.10	0.26	-0.51	-0.09	-
民間住宅投資	-0.07	0.45	0.13	-0.20	0.33	-0.22	-0.13	-0.11	-0.06	0.25	-0.25	-0.10	-	-
在庫変動	1.07	-0.07	0.53	-0.29	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.39	0.45	0.32	0.33	-0.74	-
輸出	0.10	1.18	0.08	0.77	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.55	-0.18	0.59	-0.62	-0.04	-
輸入	-0.60	-0.84	-0.80	-0.35	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.13	-0.51	-0.21	0.35	0.65	-
純輸出	-0.50	0.34	-0.72	0.42	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.68	-0.69	0.39	-0.27	0.61	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比+0.7%。前年比は+0.3%と11年10月以来のプラス成長に転換。資本財や耐久消費財によるプラス寄与が大きい
- 7月の鉱工業セクター景況感は3か月連続の前月比改善。構成要素である3か月後の生産見通し、受注残判断及び在庫判断がそろって改善した
- 13年Q3の製造業稼働率は78.3%と1年ぶりの水準を回復。しかし、いまだ長期平均を大きく下回る水準

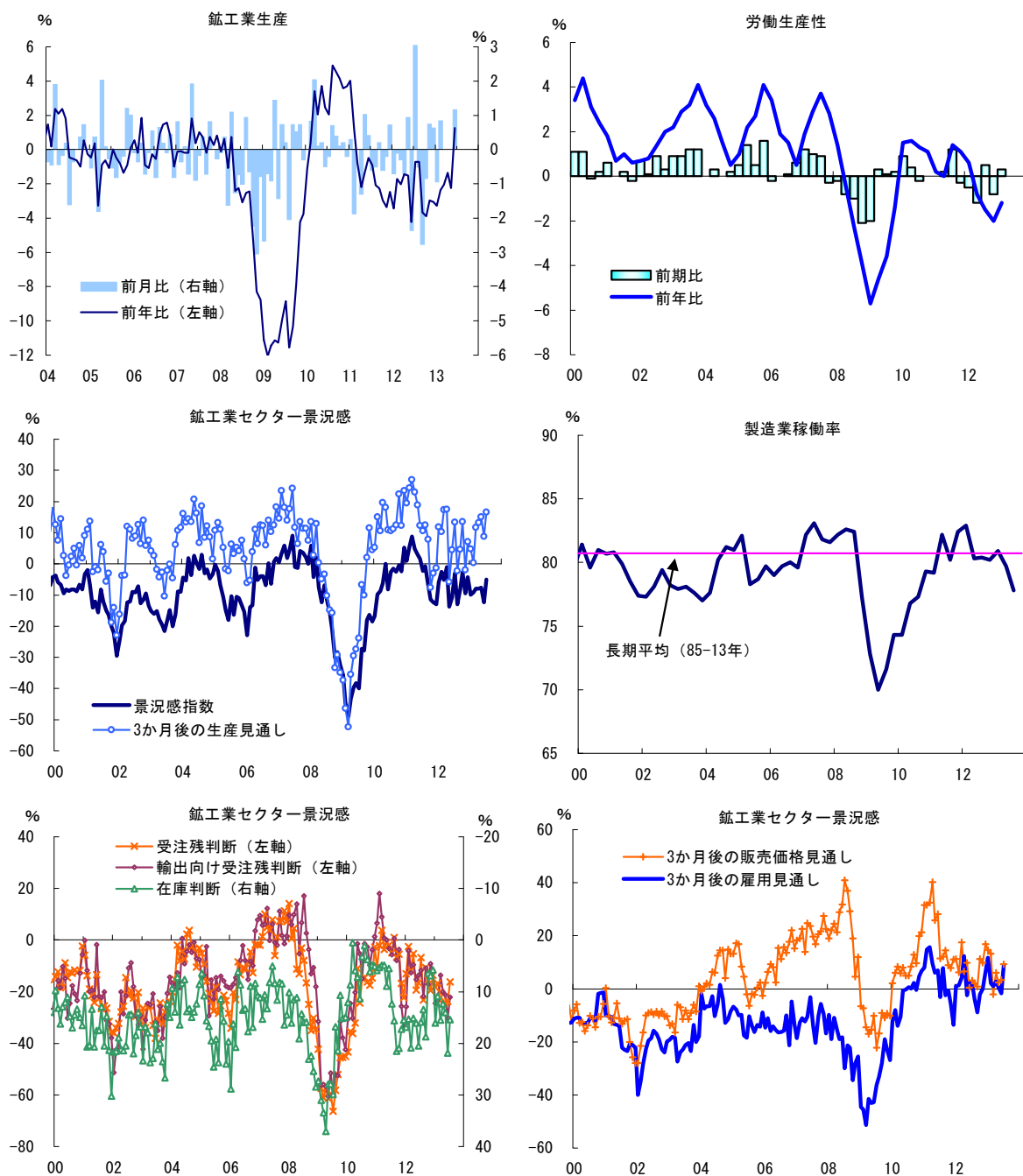


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比+1.1%。前年比では+1.2%と増加に転じた。12年6月の稼働日が2日間少なかった効果に加え、輸送機器セクターの増加が大きくプラス寄与した
- 7月の鉱工業セクター景況感は前月比改善。3か月後の生産見通し、受注残判断、在庫判断が大幅に改善。3か月後の雇用見通しも大きく改善した
- 13年Q3の製造業稼働率は77.8%とQ2の79.7%から大きく低下

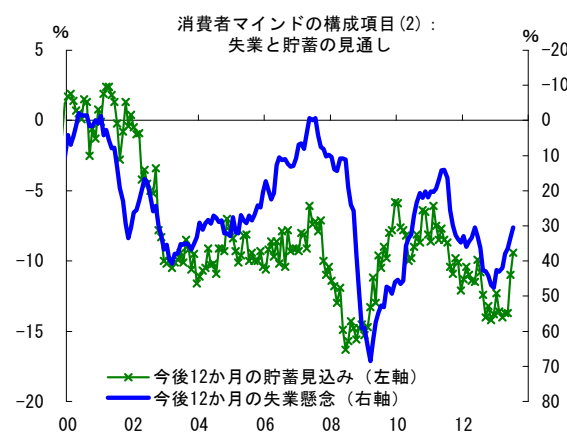
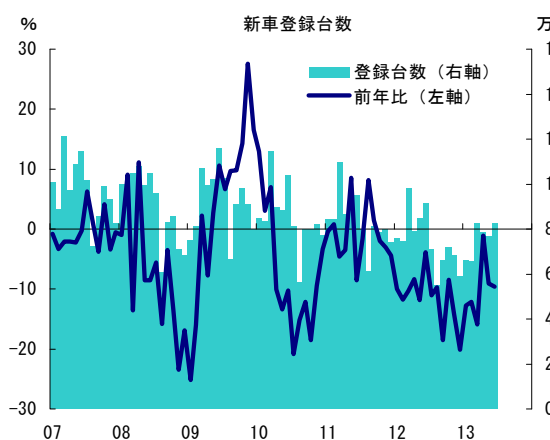
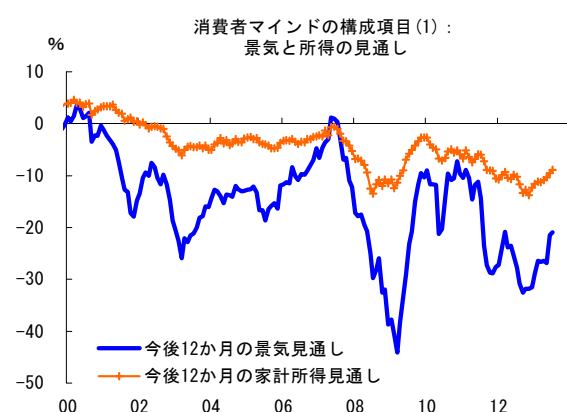
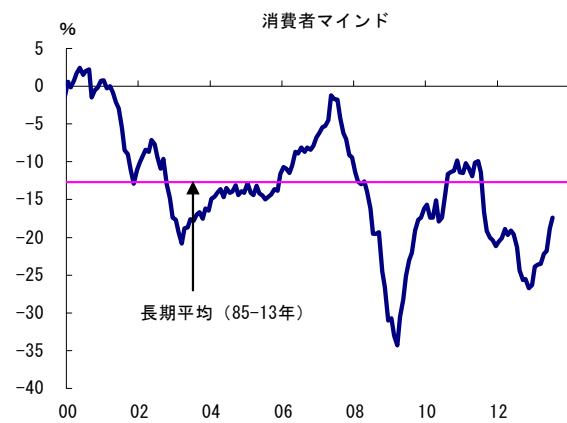
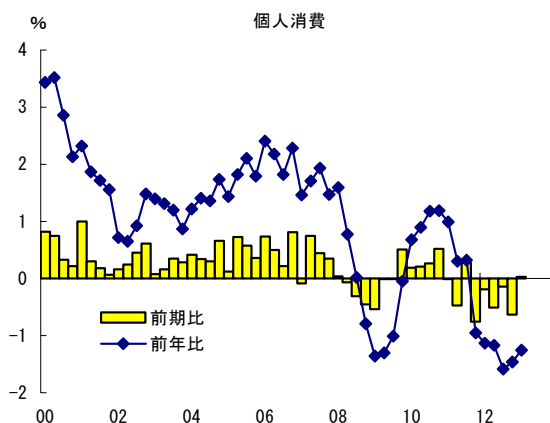


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 小売売上高は5月に11年8月以来の前年比プラスとなったが、6月は前年比-0.9%と再び前年割れに転じた
- 内訳を見ると、自動車燃料の減少が目立つが、非食品（除く燃料）も前年割れとなった
- 7月の消費者マインドは8か月連続の前月比改善。今後12か月の景気見通し、今後12か月の貯蓄見込み、今後12か月の失業懸念がいずれも改善した

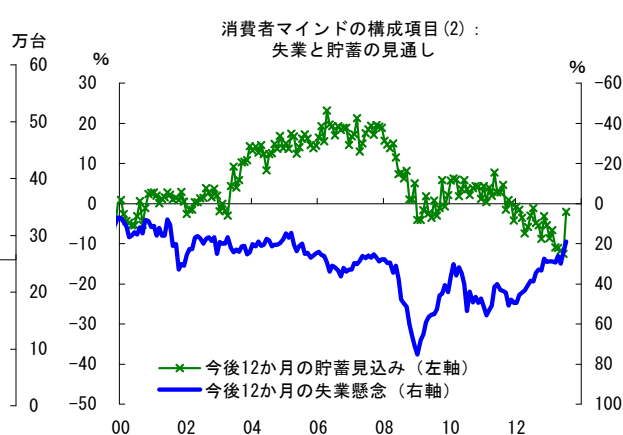
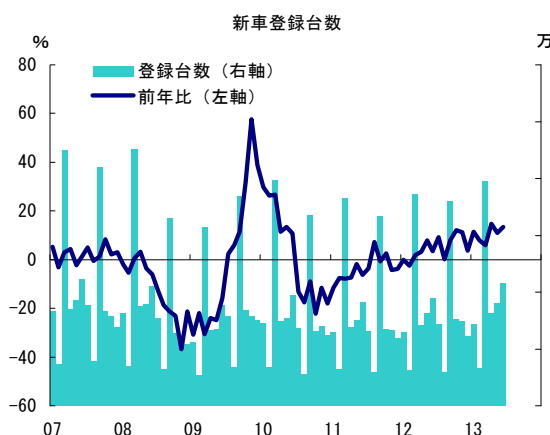
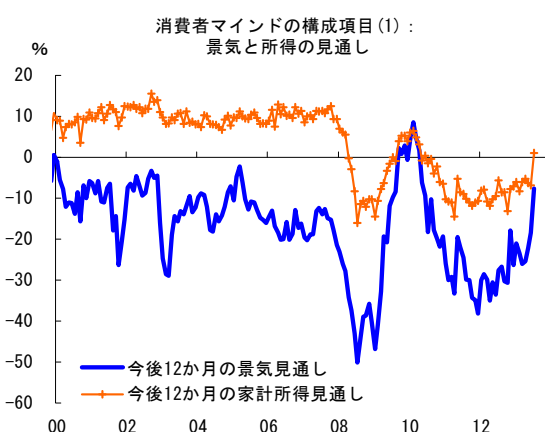
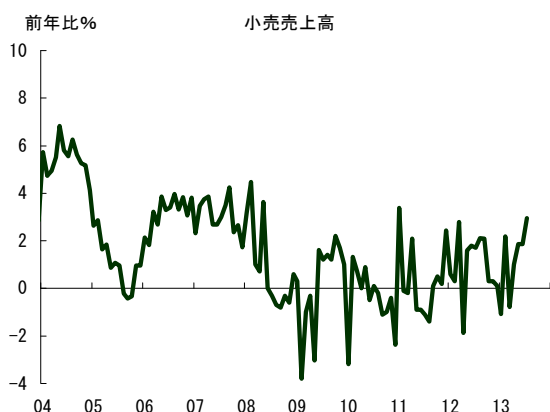
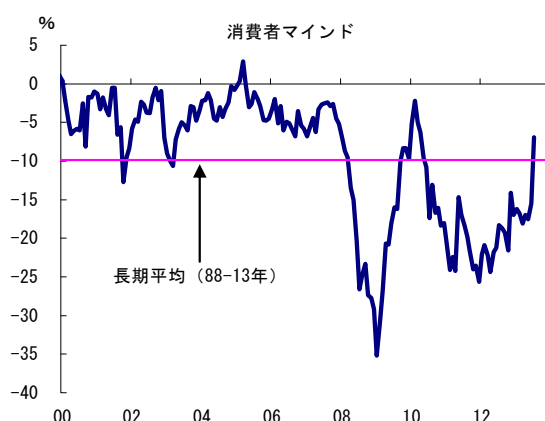


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 7月の小売売上高は前年比+3.0%と11年1月以来の大幅増。最大寄与は無店舗セクターのインターネット販売による売上であった
- また、食品セクターは好天候により同+2.1%と大幅に増加
- 7月の消費者マインドは10年5月以来初めて長期平均を上回った。今後12か月の景気見通し及び家計所得見通しは大幅改善、今後12か月の貯蓄見込みは8か月ぶりに前期比改善

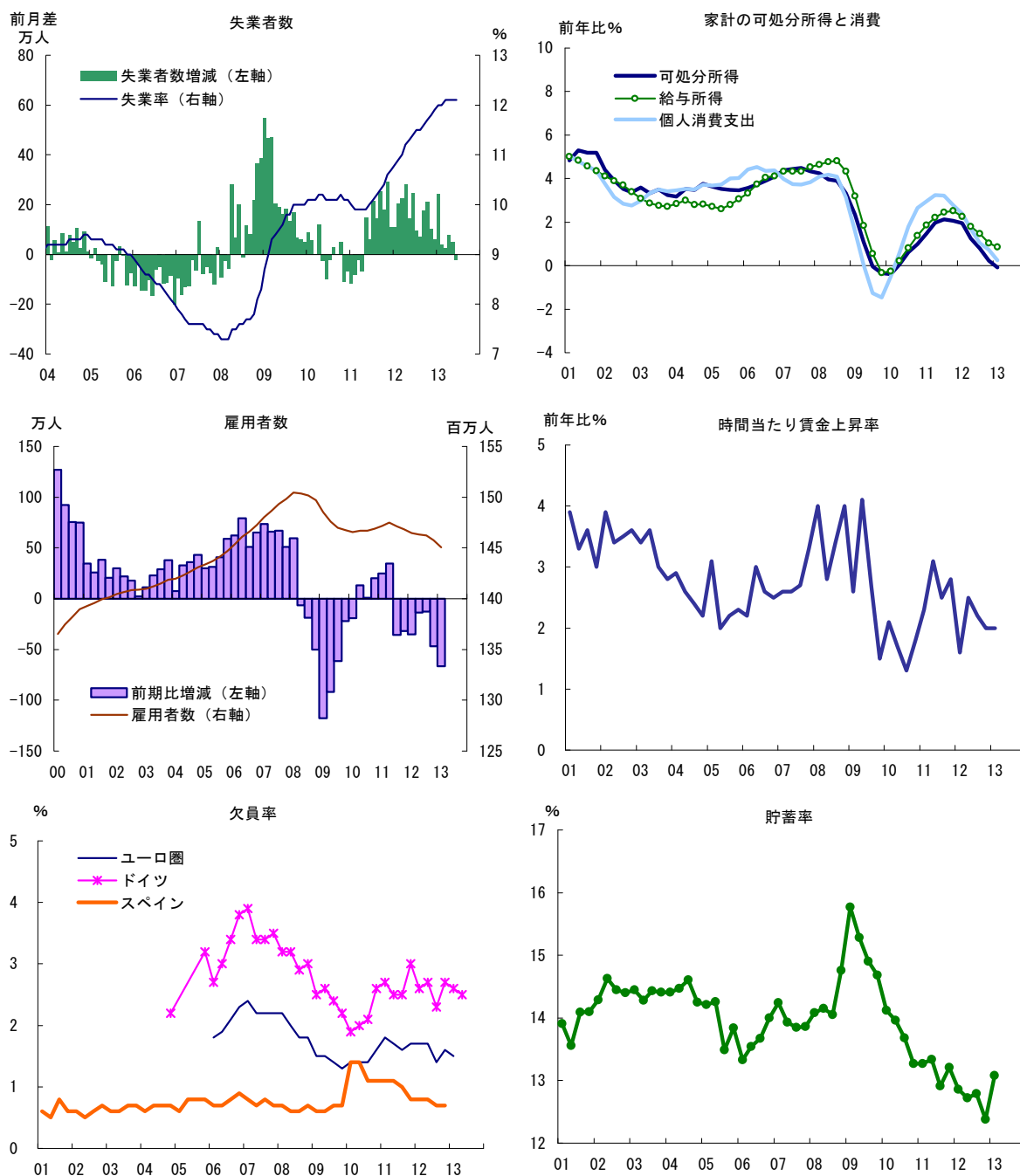


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 6月の失業者数は前月比2万4千人の減少となり、11年4月以来初めての減少を記録。25歳以上の失業者が減少した
- 13年Q1の家計の可処分所得は前年比-0.1%と10年Q1以来の前年割れを記録。個人消費支出は同+0.2%と大幅に減速
- 13年Q1の貯蓄率は13.1%と4四半期連続の低下から上昇に転じた

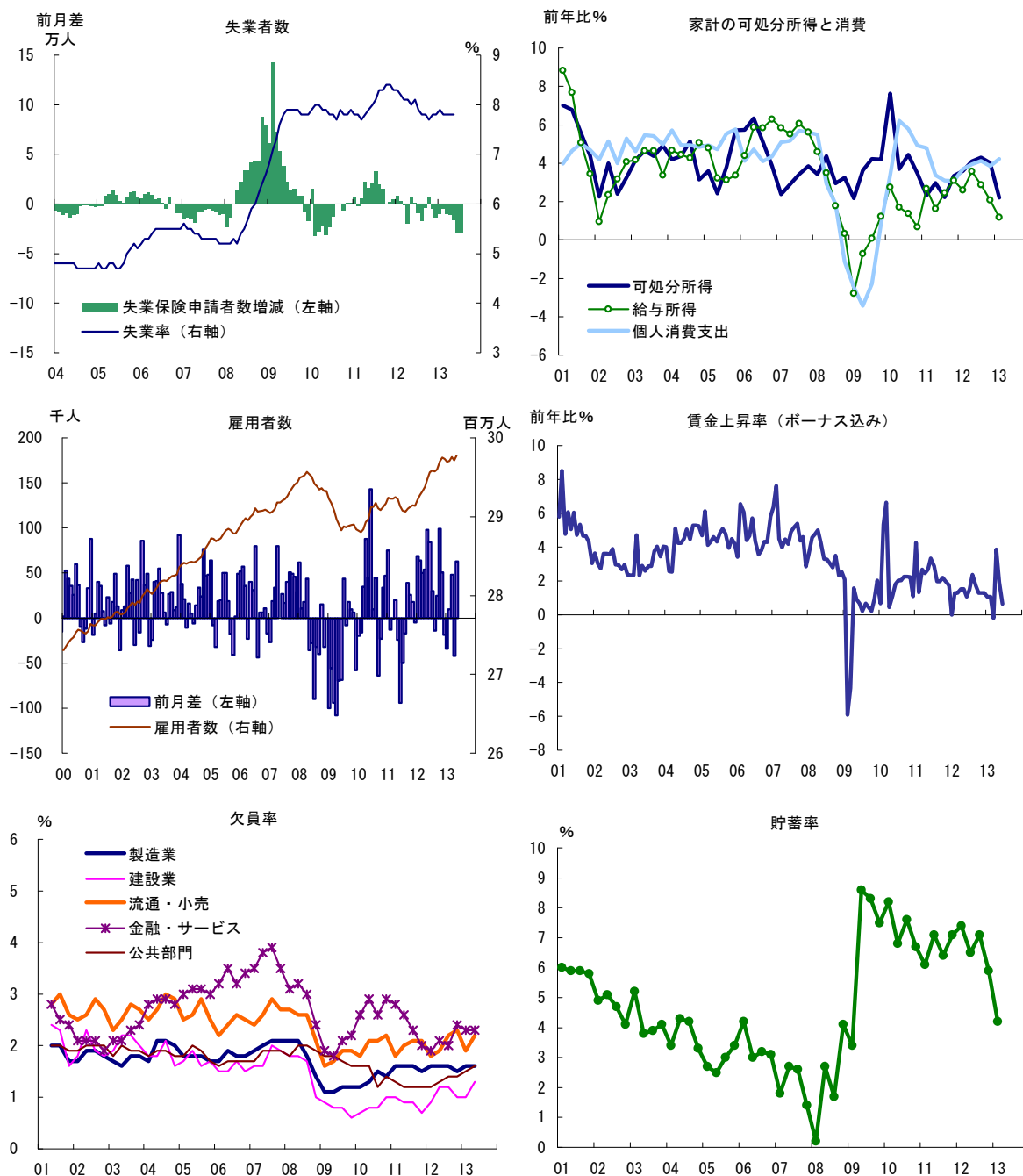


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 4-6月の雇用者数は3-5月比+6万3千人と増加に転じたが、失業率は7.8%と変わらず。労働力人口の増加幅が雇業者のそれより大きかったため
- ただし、25歳未満の雇業者に限ると、2か月連続で大幅な減少が続き、失業率は上昇
- 6月の賃金上昇率は前年比+0.6%と2か月連続で伸び率が鈍化

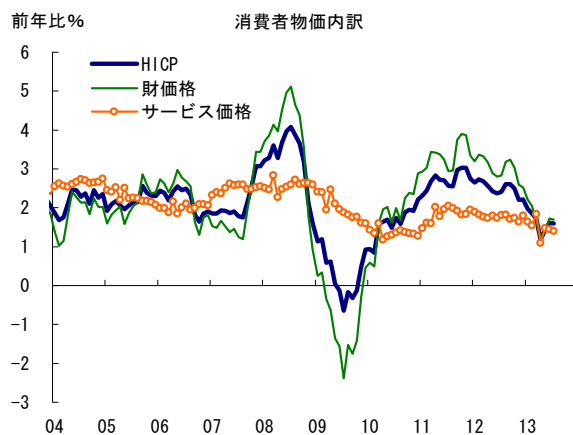
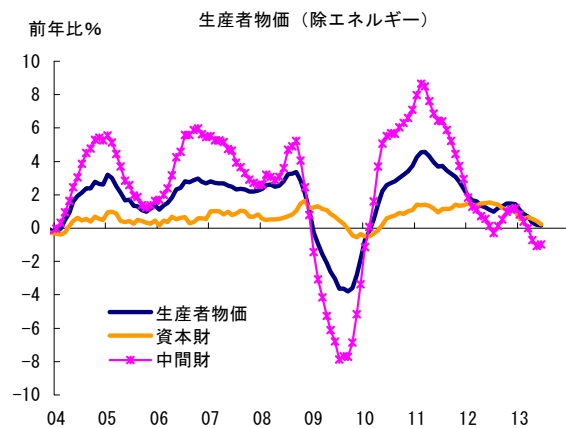
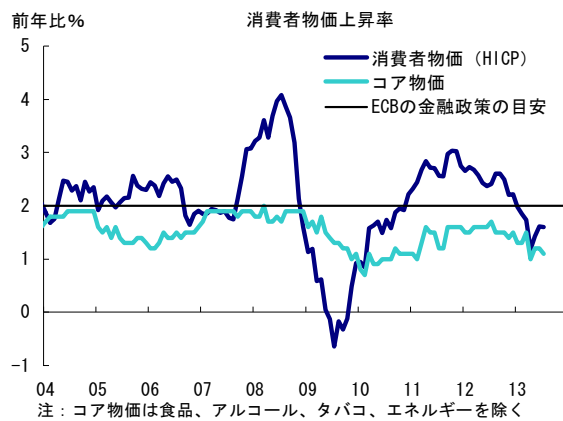


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

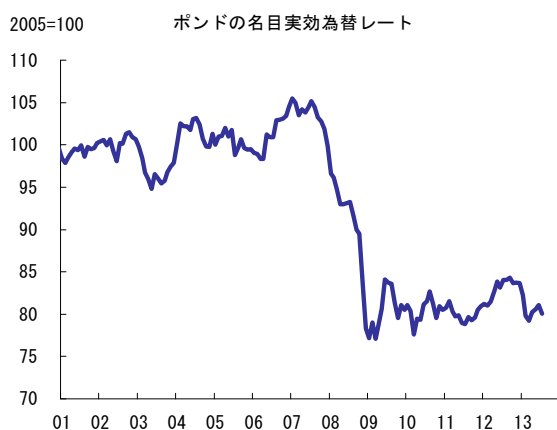
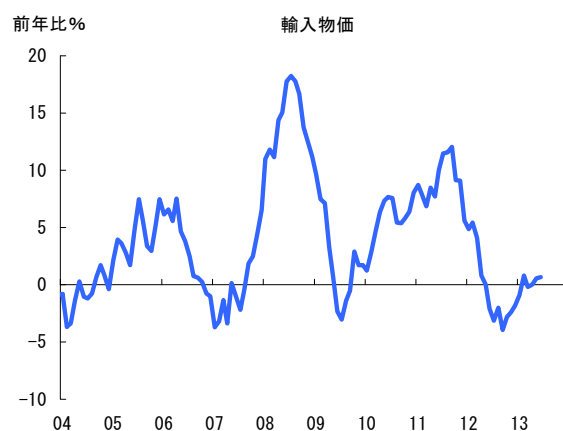
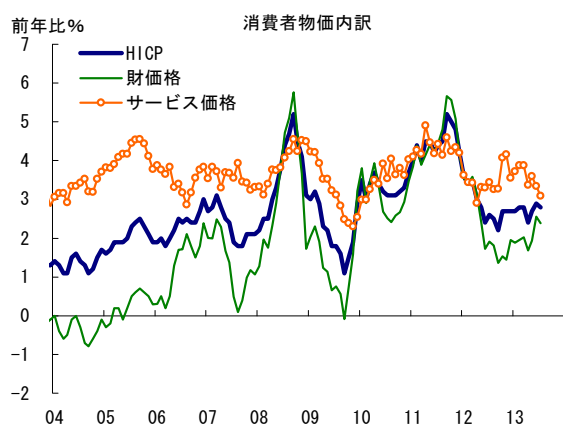
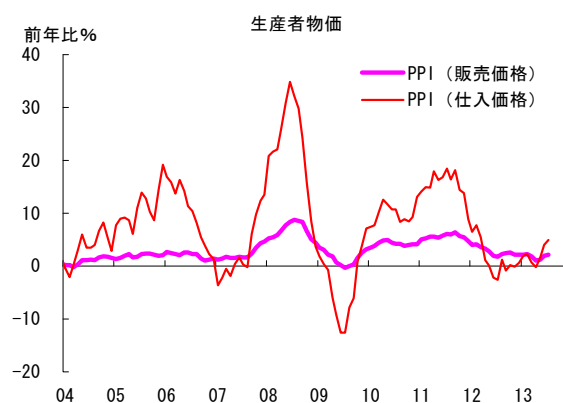
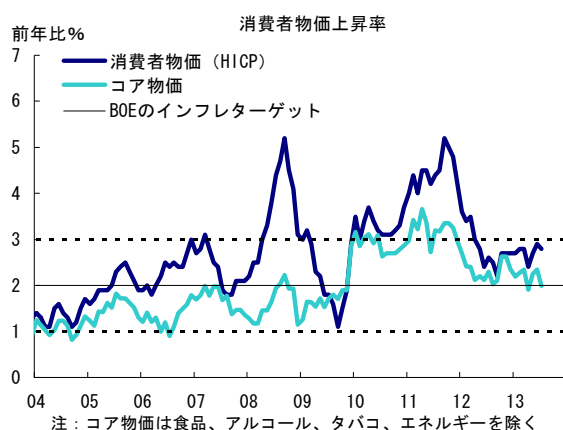
- 7月の消費者物価(HICP)上昇率は前年比+1.6%と6月から変わらず。コア物価は同+1.1%と6月からわずかに下落
- 6月の生産者物価は前年比+0.2%と5月から変わらず。中間財は前年割れが続く
- 6月の独輸入物価は前年比-2.2%と下落幅が縮小。7月のユーロの名目実効為替レートは6月からほぼ変わらず



出所: Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

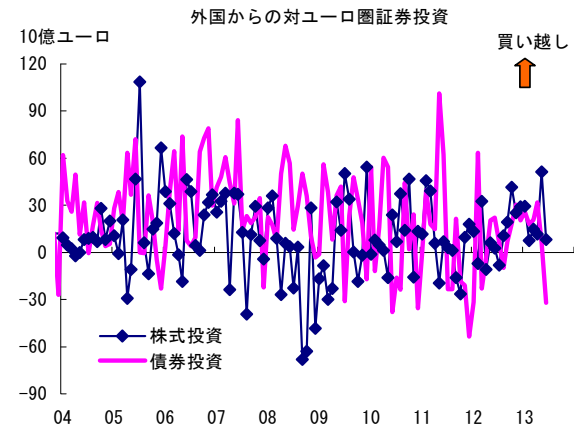
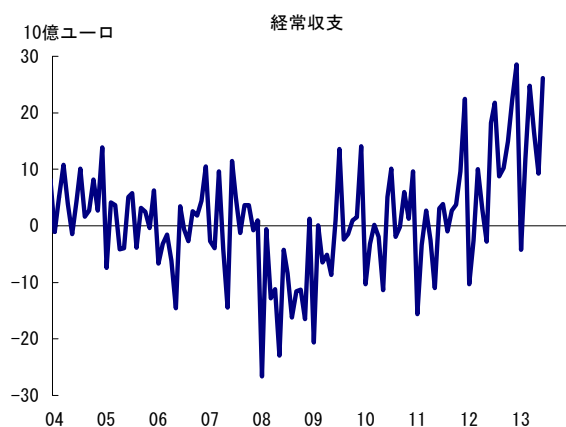
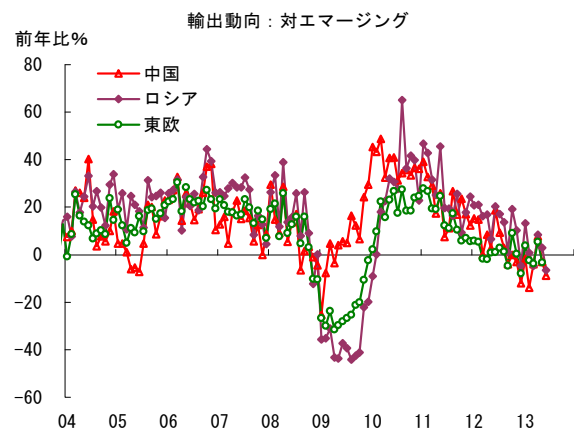
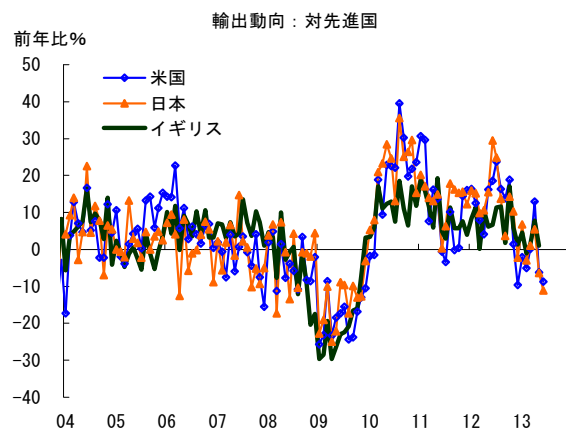
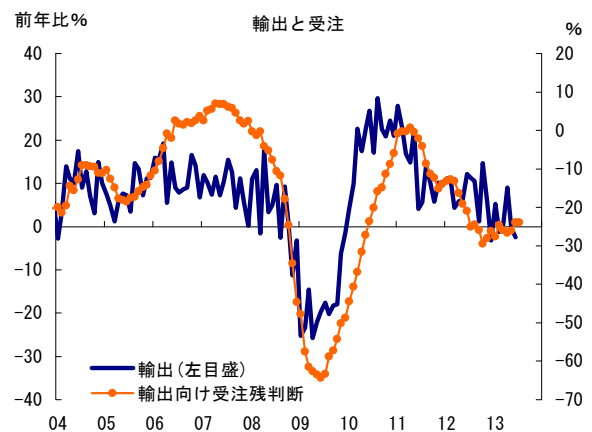
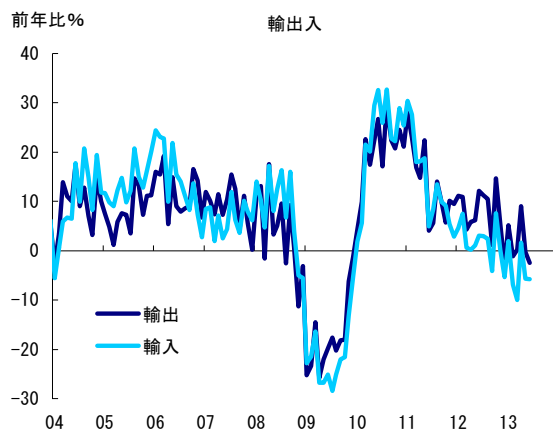
- 7月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.8%と6月からわずかに減速。主要因は、航空運賃、服飾、娯楽の価格低下
- 7月の生産者物価上昇率は、販売価格は食品価格上昇により前年比+2.1%。仕入価格は主に原油価格の上昇により、同+5.0%と伸びが加速した
- 6月の輸入物価上昇率は前年比+0.7%。7月のポンドの名目実効為替レートは再び下落に転じた



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

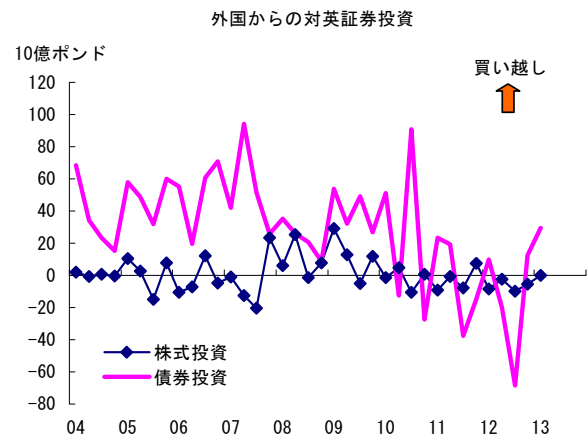
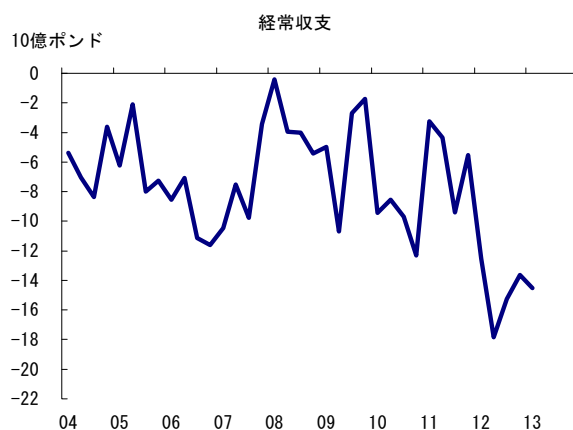
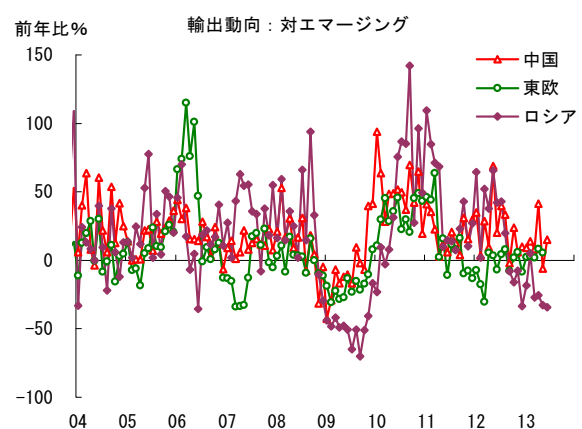
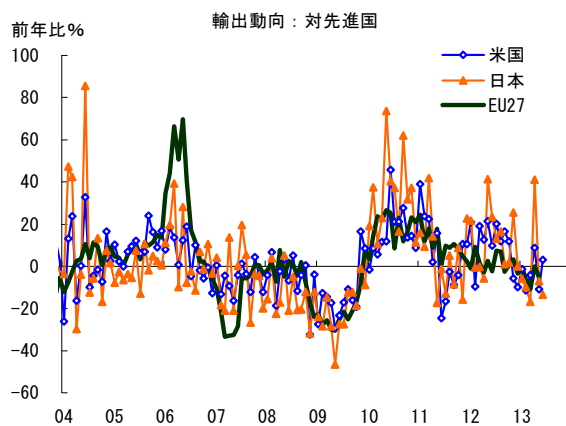
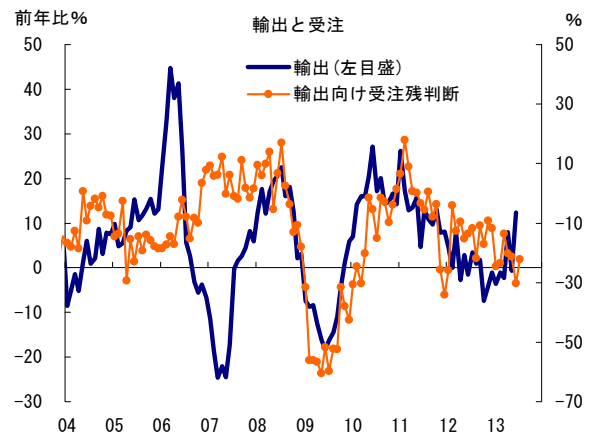
- 6月の輸出は前年比-2.5%、輸入は同-5.8%。工業製品と原材料が輸出入減少の主要因。7月の輸出向け受注残判断は6月と変わらず
- 国別輸出動向を見ると、米国、日本、中国向けの前年割れが継続、ロシア向けも前年割れに転落した
- 6月の経常収支は、主に所得収支黒転により黒字幅拡大（261億ユーロ）。外国からの対ユーロ圏証券投資は債券投資の大幅な売り越しにより、12年7月以来の売り越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 6月の輸出は前年比+12.3%、輸入は同+4.8%と共にプラス成長。完成工業品の輸出入増加が大きく寄与した。7月の輸出向け受注残判断は、4か月ぶりの前月比改善
- 国別輸出動向を見ると、米国及び中国向けは前年比プラスに回復したが、日本及びロシア向けの減少傾向は継続
- 13年Q1の外国からの対英証券投資は、株式投資が5四半期連続の売り越し。一方、債券投資は2四半期連続で買い越しとなり、買い越し金額が拡大した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成